

萩博物館企画展

萩の近代化産業遺産

—世界遺産をめざして—

The Modern Industrial Heritage in Hagi
-Aiming at the World Heritage-

平成22年
9月18日(土)～11月28日(日)

萩博物館

萩の近代化産業遺産 —世界遺産をめざして—

萩市には、幕末、萩藩(長州藩)が大砲や軍艦などの近代化にとりくんだ遺跡が点在しています。なかでも萩反射炉などは、「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産として世界遺産候補となっており、各方面から注目を集めています。

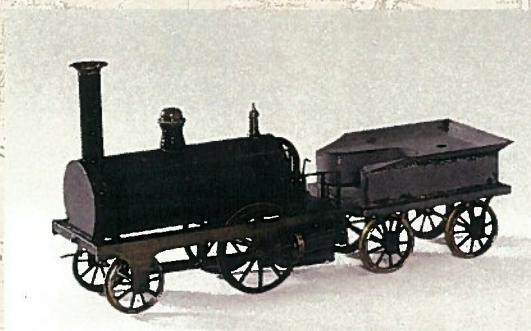
萩藩が大砲や軍艦の近代化に挑戦したのは、19世紀なかばの世界の動向に大きく関係しています。萩藩の首脳部は、アヘン戦争で中国がイギリスに大敗したという情報を得たことにより、欧米列強の圧倒的な軍事力に危機感を抱き、海の守り(海防)を強化する必要に迫られたのです。

その一方で萩藩は、大砲や軍艦といった軍事関連分野だけでなく、医学・ガラス・写真・蒸気機関など近代的な諸科学の振興にもとりくみました。しかし「鎖国」という条件下で、欧米人に頼ることなく自力で近代化を図ることは、われわれの想像以上の困難を伴うものだったのです。

本展覧会では、幕末の萩藩が試行錯誤(トライアル&エラー)しながら、自力で産業の近代化に挑戦した様子を紹介します。



安政3年(1856)建造の萩藩最初の洋式軍艦
丙辰丸の図(山口県文書館蔵)



藩主毛利敬親が孫興丸(のちの元昭)に与えた蒸気車模型(萩博物館蔵)



藩主別邸南園(江向)内のガラス製造所でつくられたグラス(中嶋健二氏蔵)



萩藩の科学者中嶋治平がすべて手づくりした木製の大砲模型(中嶋健二氏蔵)

ギャラリートーク(学芸職員による展示解説)
9月18日(土)・10月2日(土)・16日(土)・30日(土)・
11月13日(土)・27日(土) (午後2時から一時間程度)

萩探訪ツアー「萩の近代化産業遺産をめぐるツアー〜世界遺産をめざして〜」
日 程:平成22年10月7日(木)
定 員:50名(先着順)
申込先:萩市地域政策調整課 (0838-25-3819)

交通アクセス
◎JR東萩駅よりタクシー10分／徒歩30分
◎萩バスセンターより
まあーバス西回り10分
「萩博物館前」下車
◎中国自動車道山口ICより60分
美祢ICより50分
◎山陽自動車道防府東ICより70分



萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
<http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>



開館時間:午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)
観 覧 料:大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円
[団体割引20名以上20%・障害者割引20%]
駐 車 場:有料 普通車66台(1回300円)
バス8台(1回1,000円) ※市民は無料